

のりばご案内

青森フェリーターミナル

- 青森ICより青森環状バイパス・国道7号線西バイパスを経由で約15分
- JR青森駅西口よりタクシーで約10分。徒歩で約45分
- JR新青森駅よりタクシーで約10分。徒歩で約40分



青森フェリーターミナル

〒038-0002 青森県青森市沖館2丁目12番1号
TEL (017) 766-4733

函館フェリーターミナル

- 国道227号線(大野新道)経由で大沼トンネルより約30分
- JR函館駅またはJR五稜郭駅よりタクシーで約20分
- 函館空港よりタクシーで約40分



函館フェリーターミナル

〒041-0821 北海道函館市港町3丁目19番2号
TEL (0138) 43-4545

■乗船予約・運賃・時刻表等は、津軽海峡フェリーまで電話かWEBでお問合ください。
青森支店 TEL:017-766-4733 受付時間:9:00-18:00



津軽海峡フェリー × KITAMAE



青森発・函館北前船 ヒストリカル・クルーズツアー ～函館市の北前船日本遺産めぐり旅～



旅の思い出に、 特別の1枚を。

御船印とは寺社仏閣でもらえる「御朱印」の船バージョンのことで、全国各地の船会社や海洋博物館が独自の印を発行しています。

ターミナル売店 限定販売

～江戸時代に活躍した“北前船”とのコラボ御船印～

津軽海峡フェリー
北前船テーマ印 1枚 300円(税込)

各ターミナル※の売店でお買い求めいただけます。

※室蘭ターミナルでの販売はありません。



北前船フェリーツアーについてのお問い合わせは
右記の連絡先までご連絡ください。ご要望に合わせた
コース、プラン、ガイドをご紹介します。

函館KITAMAEプロジェクト & 北前船フェリーツアー実行委員会
E-mail: kitamaenet2020@gmail.com TEL:080-5423-7658 HP:https://kitamae-ferrytour.jp/

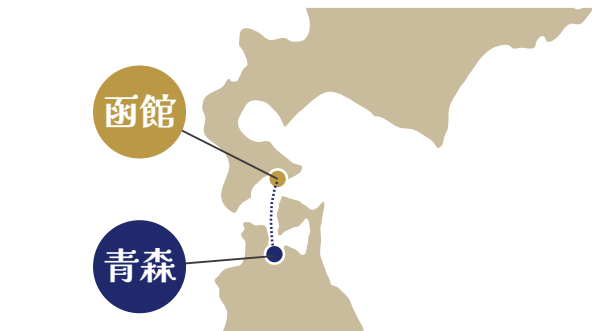


津軽海峡フェリー×函館KITAMEプロジェクト & 北前船フェリーツアー実行委員会

Concept

青森と函館は、江戸時代から明治時代にかけて、北前船の寄港地として様々な物資、人や文化が盛んに往来し、深いつながりがありました。函館市内には現在も様々な北前船ゆかりの遺産が残っており、日本遺産「北前船寄港地・船主集落」に認定されています。津軽海峡フェリーに乗って、函館の北前船遺産、そして観光スポットやグルメを北前船ストーリーとともに満喫してみませんか？

津軽海峡フェリー 青森～函館航路について



片道約3時間40分

青森～函館航路は、1日6往復運航しています。津軽海峡の雄大な景色を、ゆったりと流れる時間の中で楽しむことができ、大型船で揺れが少なく快適な時間を過ごすことができます。5～6月は運が良ければ船上からイルカが見えることも。

函館市内の北前船関連スポット 「★」は北前船日本遺産構成文化財



- 1 函館護国神社
- 2 高田屋嘉兵衛銅像
- 3 高田屋敷跡★
- 4 箱館高田屋嘉兵衛資料館
- 5 高田屋本店跡★
- 6 箱館丸
- 7 厳島神社★
- 8 称名寺(高田屋一族の墓)
- 9 函館山★
- 10 旧相馬家住宅
- 11 太刀川家住宅店舗
- 12 旧西出孫左衛門邸跡地(現:函館・湯の川温泉 KKR はこだて)
- 13 湯川寺
- 14 箱館奉行所★
- 15 函館市北洋資料館



青森発 函館ツアー

「★」は函館市の北前船日本遺産構成文化財



函館の北前船遺産を満喫できるモデルコースをご紹介します

1日目 青森港を出港し、函館港に到着。フェリーターミナルから自家用車、タクシー等で函館市内の北前船遺産を巡ります。

西部地区

函館フェリーターミナル
※西部地区まで車で約15分

1 函館護国神社
高田屋嘉兵衛が原点をつくった函館のまちなみを一望。「招魂場」碑は、嘉兵衛が失業対策事業として海岸から運ばせた亀石を分断したもの。

2 高田屋嘉兵衛銅像
エトロフ航路の開発や北方漁場の経営、幕府の代理人としてロシアと交渉した、江戸時代の豪商・北前船主の銅像。昭和33(1958)年、建立。

3 高田屋敷跡★
高田屋嘉兵衛のあとを継いだ金兵衛(嘉兵衛の弟)が幕府の許可を得て5万坪を拝借し、その一角に豪壮な邸宅を建てました。

4 箱館高田屋嘉兵衛資料館
高田屋嘉兵衛と北前船に関する資料約500点を展示した私設資料館。明治36(1903)年築の1号館の外壁には越前産の笏谷石が使用。昭和61(1986)年開館。

5 高田屋本店跡★
高田屋が商売の拠点を置いた店舗跡。寛政10(1798)年、嘉兵衛は大町に本店を構え、弟の金兵衛を支配人とした。

西部地区

6 箱館丸
安政4(1857)年、日本人によって建造された初の洋式商用帆船。高田屋嘉兵衛の船大工だった続豊治が制作。昭和63(1985)年、青函博で復元。全長30m。

7 厳島神社★
北前船主ゆかりの奉納物が多数あります。鳥居は橋立(石川県加賀市)の船主たちが寄進したもの。当初、弁天崎にあり、安政年間に現在地へ移築。

8 称名寺 高田屋一族の墓
境内には高田屋一族の墓、高田屋ゆかりの三十三観音が一体あります。正保元(1644)年創建。明治14(1881)年、現在地へ移転。

9 函館山★
船乗りたちが出港前に日を見た山。かつて、高田屋ゆかりの三十三観音がありました。北前船主・西出孫左衛門が土地の一部を所有し「西出山」と呼ばれていました。

10 旧相馬家住宅
函館を代表する豪商として知られる、相馬家、太刀川家は、北前船関連の商売・取引で財を成しました。旧函館区公会堂は、相馬家が建築費の大部分を寄付しました。

11 太刀川家住宅店舗

湯の川エリア

12 湯の川温泉に宿泊 夕食
かつて北前船主や豪商は、湯の川地区に邸宅を構えていました。西出孫左衛門邸は平成8(1996)年、KKRはこだてになりました。灯籠等、当時の面影を残しています。

2日目

13 湯川寺
天保5(1834)年、函館山に安置された高田屋ゆかりの三十三観音は、大正3(1914)年に湯川村へ移され、昭和50(1975)年、湯川寺に遷座しました。

五稜郭エリア

14 箱館奉行所★
束石には越前産の笏谷石、屋根瓦には越前瓦が使用。開港後、幕領となった函館に五稜郭が築造され、元治元(1864)年、その中に奉行所が建設されました。

15 函館市北洋資料館
函館の繁栄に貢献した北洋漁業の原点には北前船主が深く関わっています。昭和57(1982)年開館。貴重な資料が約400点展示されています。

高田屋嘉兵衛最中



紹介動画・体験記

函館の北前船フェリーツアーを紹介する動画を右のQRコードからご覧いただけます。



▶ ツアー動画

デジタルガイドツール

函館市の日本遺産「北前船寄港地・船主集落」を巡る際には、日本遺産北前船デジタルガイドツールをご活用ください。写真、解説、音声ガイドをご利用いただけます。

